

The background image shows a coastal scene under a cloudy sky. In the foreground, there is a dark, rocky shoreline. A lone, tall pine tree stands prominently in the middle ground. To the right, a multi-story building, likely a school or community center, is visible, showing signs of damage with its roof partially collapsed. In the background, there are rolling hills and a body of water. A small orange excavator is visible on the left side of the image.

東日本大震災 久里浜こころのケアチーム 第34班活動報告

遠山・三原・近藤・塘

2011.10.25 陸前高田の一本松

【活動期間】

平成23年10月25日(火)～10月28日(金)

【活動地域】

大船渡地区・末崎町地区・立根町地区
赤崎地区



【活動内容】

- 公用車トランク内のカルテ類保管場所の確保
- スタッドレスタイヤへの交換
- 戸別訪問
- 保健介護センターでのミーティング
県市保健師と今後当センターの活動について話し合い
- 「こころの相談室」開設
- 仮設住宅支援員へ「こころの相談室」の広報

【相談件数・日別】

	33班申 し送り 件数	25 火	26 水	27 木	28 金	計
電話対応	2	1	1			2
戸別訪問	3		2	1		3
こころの相談室	4			3*		3*
合 計	9					8*
仮設住宅支援員への広報 「こころの相談室」の存在			5	1	2	8
新規ケース					1	1

* 無断キャンセル1件

現在仮設住宅は37か所

【相談件数・主訴別】

主 訴	
幻覚・妄想/不穏	2
不眠(PTSD)	2*
老人	1
アルコール	3
合 計	8*

* 無断キャンセル1件

仮設住宅の缶の収集は1/2Wとのこと



【県と市の保健師からの意見】

- 地域医療にうまくつながった人もいれば、そうでない人もいる。
- 鬱は増えているしストレス反応の人もいる。
- 高齢者の独居が心配。引きこもって出てこない人もいる。
- 仮設をまわり、支援員へこころの相談室の周知をしてくれるのはありがたい。
- 支援員や社協の陽だまりサポーターに研修を行ってもらえるのもありがたい。



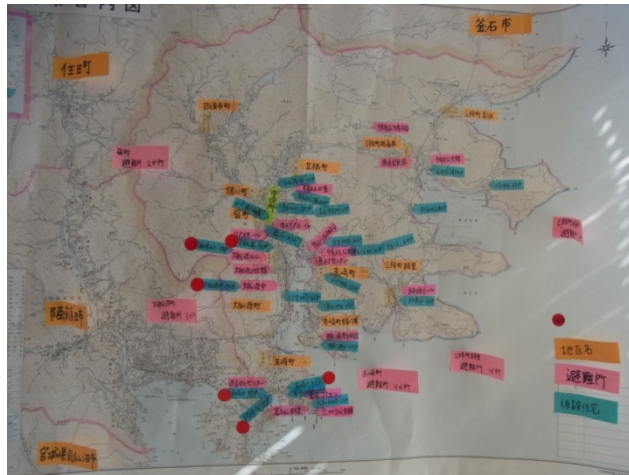
細浦の港から漁に出る船

【問題点】

- 地元の保健師は既に通常業務に戻っている。
支援保健師は奥州市保健師のみになり、保健師からの情報はほとんど収集できない状況であり訪問件数が減少している。
- こころのケアチームの活動の見直しをする旨お伝えしたところ、保健師さんごとの立場や状況の違いによって様々な意見が出された。

当センターの活動縮小を心配している様子で戸別訪問を再開し情報提供していく案

地元保健師の仕事が増えるのは本末転倒、自力で活動方法を検討してほしい



現在大船渡市仮設住宅は37か所 主要仮設（大規模仮設）7か所

仮設住宅の支援員

北上市ジャパングリエイト(NPO法人)採用の職員
簡単な面接で採用の大船渡在住者 2年間採用
月1回の勉強会

第1第3水曜日 クリエイト上部組織の支援会議

- 「こころの相談室」周知活動
- 支援員からの情報収集
- 支援員への教育

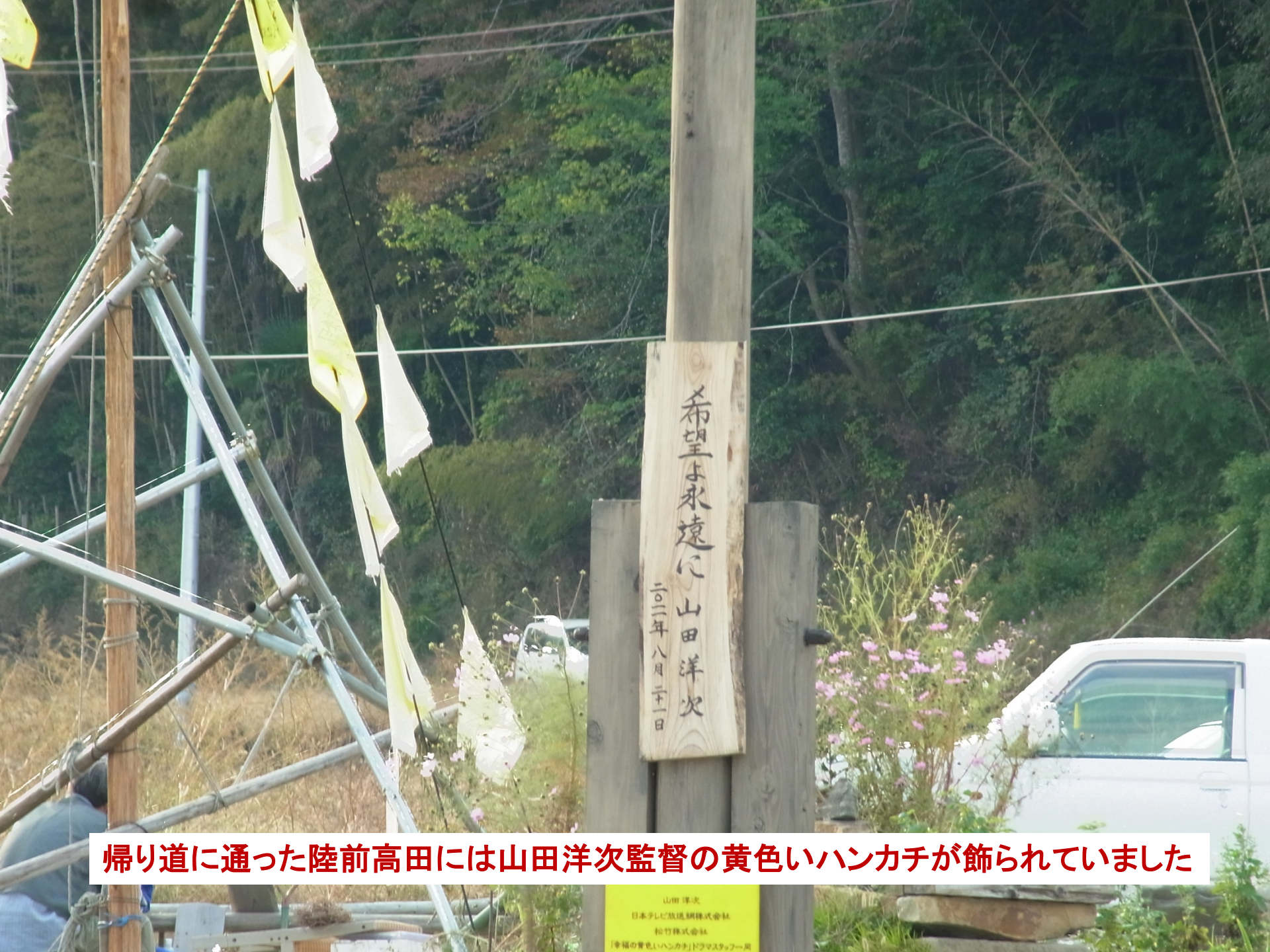


現地は復興に向け
日々変化は続いて
いる。

厳しい冬を前に当
センターの支援方
法も現地の変化に
合わせた援助を考
えていかなければ
ならない。

水沢での宿泊は終了
今後は一ノ関へ





希望永遠に
山田洋次
二〇二二年八月二十一日

帰り道に通った陸前高田には山田洋次監督の黄色いハンカチが飾られていました

山田 洋次
日本テレビ放送網株式会社
松竹株式会社
「幸福の實もいハンカチ」ドラマスタッフ一員